



1950年代のヴィルツカラを象徴する照明

タピオ・ヴィルツカラによってデザインされたペンダントランプです。国際的評価を確立した幾何学的デザイン期を代表する作品であり、端正なフォルムは設置場所を選ばず、多様な空間に美しく調和します。型吹き成形によるマットなホワイトオパールガラスのシェードが光を柔らかく拡散し、洗練された落ち着いた佇まいを演出します。

トリエンナーレ

Triennale

Designed by Tapio Wirkkala [1950s]

Φ.230 H.300 (重量 1.6kg)
ガラス (サンドブラスト加工仕上げ)
E26 白熱球 40W×1または
E26 LED電球 40W相当×1 ※別売り
コード長:1.4m
引掛けシーリング
¥88,000 (tax-included)



1. ガラスシェードの表面にはサンドブラスト加工が施され、マットな質感。
2. 点灯時。